

霧島屋久国立公園（屋久島地域）の公園区域及び公園計画の変更について

1. 変更の理由

霧島屋久国立公園は、鹿児島・宮崎の両県にまたがり、霧島火山帯に属する霧島地域、桜島を中心とする錦江湾地域及びその南方海上に位置する屋久島地域からなる。

本公園は、昭和 9 年 3 月 16 日に霧島地域が霧島国立公園として指定され、昭和 39 年 3 月 16 日に屋久島地域及び錦江湾地域が追加指定されて現在の名称となった。屋久島地域については、平成 14 年 2 月 19 日に公園区域及び公園計画の全体的な見直し（再検討）を行い、現在に至っている。今回屋久島の北西約 12km の洋上に位置し、屋久島北西部の海岸等から間近に望むことができる^{くちえらぶじま}口永良部島島全域（面積 3,577ha）を霧島屋久国立公園の公園区域に編入するため、公園区域及び公園計画の一部変更を行うものである。

2. 拡張区域の概要

（1）地 形

口永良部島は、新旧 2 つの火山群が結合した火山島でありひょうたん型をしている。東部には、新岳・古岳などの円錐状火山が並び、その周辺は多くの噴気孔や割れ目火山、火山跡の野池などが見られる特異な火山景観となっている。西部には番屋ヶ峰があり、島内の山々や遠方の島々への優れた眺望が得られる。北部にはなだらかな起伏の丘陵地が広がり牛の放牧場などとして利用されている。海岸部には、火口から流れ出た溶岩が波に浸食されてできた海食崖や海食洞窟等の変化に富んだ地形を有している。

（2）動植物の分布

新岳・古岳中腹には自然性の高いスダジイ群落が、海岸に近いところではリュウキュウチクが繁茂する。またエラブオオコウモリ（環境省レッドデータブック絶滅危惧ⅠA類、国指定天然記念物）等のコウモリ類の他、ヤクシカなどが生息する。海域の岩礁域には、被度・種類とも豊かなサンゴ礁が形成されている。



3. 変更案の概要

(1) 保護規制計画の変更

口永良部島内全域について、風致景観の保護を図るとともに地域における土地利用との調整を考慮し、次のとおり保護規制計画を変更する。

ア. 特別保護地区

新岳・古岳山頂～中腹（191ha）

新岳及び古岳山頂の火口周辺には主に火山荒原植生が展開し、火口と一体となって原生的な景観が展開する。植生は、中腹から麓に向けてヒサカキ群落から自然性の高いスダジイ群落へと移り変わり、口永良部島を代表する優れた景観を有する。

イ. 第1種特別地域

1) 海岸から崖がそびえる雄大な海食崖景観が展開し、海食洞窟やポットホール等が存在するなど変化に富む海岸線が続く海岸部

- ・ナゲシ野崎海岸部（21ha）
- ・倉崎山臼伐海岸部（6ha）
- ・折崎海岸部（10ha）
- ・芭蕉浦崎海岸部（15ha）
- ・口永良部島東部海岸部（27ha）

2) 新岳・古岳山麓部（626ha）

新岳・古岳の特別保護地区から連続する山麓部は、自然性の高い照葉樹林が分布し、その山体を形づくっている。また古岳南麓には起伏の大きな火山地から海食崖が連続し荒々しい景観を呈している。

ウ. 第2種特別地域

1) 岩屋泊海岸部（5ha）

湾入部に位置し波は静かで穏やかな景観を有している一方、海岸には海食洞窟等の荒々しい地形が見られる。また硫黄島、開聞岳など遠方の島や、山への優れた眺望が得られる。

2) 西之浜（2ha）

口永良部島唯一の白浜であり、波の穏やかな入江で海辺のレクリエーション利用にも適している。

3) 番屋ヶ峰（6ha）

島西部の最高点に位置し、口永良部島島内及び遠方の島々への優れた眺望が得られる。

4) 寝待海岸部（4ha）

寝待立神や特徴的な形態をした岩など変化に富む海岸景観を有し、海岸部には温泉が湧出する。

5) 岩崎海岸部（3ha）

口永良部島の玄関口にあたる場所であり、フェリーから海食崖が連続してそびえる景観を眺望できる。

6) 海岸から崖がそびえる海食崖景観が展開する。

- ・湯向北海岸部（2ha）

- ・湯向南海岸部（2ha）

7) 新岳・古岳山麓西側下部（400ha）

自然性の高いスダジイ群落に覆われた溶岩台地が形成されている。

8) 新岳・古岳山麓東側下部（82ha）

自然性の高いスダジイ群落が広がっており、海岸に近い部分はリュウキュウチクに覆われている。

エ．第3種特別地域

口永良部島北部（2,110ha）

中起伏火山地で大半をリュウキュウチク群落ที่覆う。なだらかな地形を牛の放牧牧野、採草地として利用がなされている。

オ．普通地域（65ha）

1) 住居や商店等の集落地

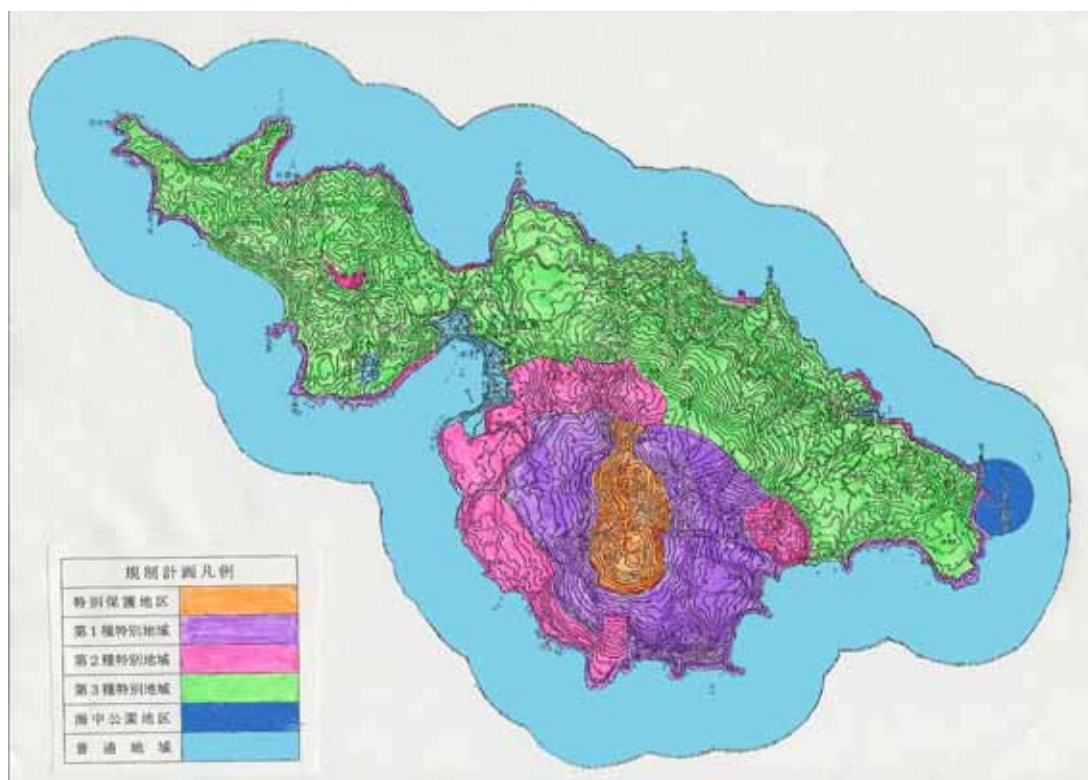
- ・本村・前田・向江浜
- ・新村
- ・湯向

2) 陸域に接して島と一体と成った風景を形成している汀線から沖合に1kmの海域（海中公園地区を除く。）

カ．海中公園地区

メガ崎（56.5ha）

海岸付近は岩盤上に巨大な転石が散在し、岩盤や転石の上に塊状のサンゴ群体が分布しており、島周辺の中でも特に多いサンゴの種数が確認されている。また洞窟などもみられ、多くの魚種が確認されており、特に優れた多様性を持つ海中景観が展開する。



ア. 単独施設

- ① 水泳場 鹿児島県熊毛郡上屋久町（岩屋泊）
- ② 園 地 鹿児島県熊毛郡上屋久町（本村）
- ③ 博物展示施設 鹿児島県熊毛郡上屋久町（本村）
- ④ 公衆浴場 鹿児島県熊毛郡上屋久町（湯向）

1) 車道

島内の主要な利用拠点に至る利用動線

2) 歩道

照葉樹林から荒々しい古岳の火口に至る登山道

島東部の牧野から磯のタイドプールなどが見られるメガ崎灯台及び海中公園地区に至る歩道



水泳場計画地（岩屋泊）



本村岩屋泊湯向線（車道）



本村岩屋泊湯向線（車道）



公衆浴場計画地（湯向）



フェリー太陽



フェリー乗り場の様子



古岳線（歩道）起点



古岳線（歩道）終点



永迫メガ崎線（歩道）



永迫メガ崎線（歩道）



メガ崎遠景



永迫メガ崎線（歩道）
終点（灯台）



メガ崎近景